

- 問1 宮崎県などの温暖な地域で見られる、ビニールハウスや温室などの施設を利用して、本来の時期よりも野菜の栽培時期を早める工夫を何といいますか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 促成栽培 | 2. 近郊農業 | 3. 抑制栽培 | 4. 露地栽培 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問2 北海道の洞爺湖の近くにある有珠山は、たびたび噴火を繰り返す活火山ですが、周辺地域では火山と共生したまちづくりが行われています。火山が地域にもたらすマイナスの影響とプラスの影響を考慮したとき、適切な説明はどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 噴火によって流出した溶岩が平坦な土地を作るため工場誘致に有利だが、火山ガスの影響で精密機械の製造が困難である | 2. 火山活動によって土地が肥沃になり稲作が飛躍的に発展したが、地熱によって周辺の気温が上がりすぎる弊害がある | 3. 火山灰による農作物への被害や噴火災害の恐れがある一方で、温泉や美しい景観が観光資源となっている | 4. 火山灰が降り積もることで大規模な森林が形成され林業が盛んになるが、山火事が発生しやすいリスクがある |
|---|---|--|--|
- 問3 九州地方などの畜産業において、外国から安価な牛肉や豚肉の輸入が増加した際、国内の農家が経営を維持するために取った戦略として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---|
| 1. 外国からの輸入を完全に禁止するよう国に強く働きかけ、市場の独占を目指した。 | 2. 畜産業から撤退し、すべての農地を海外輸出向けの果樹栽培に転換した。 | 3. 「宮崎牛」などの名称を冠したブランド化を進め、品質の高さで差別化を図った。 | 4. 外国産の肉に対抗するため、生産コストを極限まで下げて安売り競争を続けた。 |
|--|--------------------------------------|--|---|
- 問4 沖縄県における河川の状況と水資源に関する記述として、統計的な事実や地理的特徴に基づいた正しいものを選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大規模な平野部を流れる長大な河川が多く、古くから水田稲作が盛んに行われてきた。 | 2. 河川が非常に緩やかに流れているため、海への流出に時間がかかり蒸発による損失が激しい。 | 3. 降水量が極めて少ない地域であるため、河川の流量が年間を通じて一定ではない。 | 4. 全国平均と比べて河川の長さが極めて短く、雨水を安定して蓄えることが難しい地形である。 |
|--|---|--|---|
- 問5 沖縄県は年間降水量が全国的に見ても多い地域ですが、古くから深刻な水不足に悩まされてきました。その自然環境的な理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 山地から海までの距離が近く河川の長さが極端に短いため、降った雨が蓄えられず速やかに海へ流出してしまうから。 | 2. サング礁が発達している影響で、河川に塩分が混じりやすく飲料水として利用できる水が限られているから。 | 3. 年間を通して日照時間が非常に長く、ダムに蓄えられた水の大部分が蒸発して失われてしまうから。 | 4. 地形が平坦で大規模な盆地が多いため、雨水が地表に溜まらずにすぐ地下へ浸透してしまうから。 |
|--|--|--|---|
- 問6 1月の気温が15度を超え、梅雨や台風の影響を受ける7月・8月に降水量のピークがある気候統計を示し、年間の降水量が2100mmを超える沖縄県の都市について、その都市名と行政上の役割の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|----------------------------|--------------------|----------------------------|
| 1. 沖縄市 — 沖縄県の県庁所在地 | 2. 名護市 — 沖縄本島南部を管轄する行政の中心地 | 3. 那覇市 — 沖縄県の県庁所在地 | 4. 那覇市 — 九州地方全域を統括する政令指定都市 |
|--------------------|----------------------------|--------------------|----------------------------|
- 問7 沖縄県を訪れた外国人観光客（空路利用）を対象とした意識調査において、受け入れ側の「外国語対応能力」と「WiFi（ワイファイ）」の環境について、それぞれの調査結果を正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 「外国語対応能力」は満足度が最も低い項目となっており、「WiFi」は不満度が最も高い項目となっている。 | 2. 「外国語対応能力」は土産品の充実度よりも満足度が高く、「WiFi」は食事のメニューよりも不満度が低い。 | 3. 「外国語対応能力」と「WiFi」は、ともに満足度が最も高い項目として挙げられている。 | 4. 「外国語対応能力」は不満度が最も低い項目となっており、「WiFi」は満足度が最も高い項目となっている。 |
|--|--|---|--|
- 問8 熊本県の阿蘇山周辺や、桜島を囲む鹿児島湾の地形的な特徴として、大規模な火山の噴火が起こった際、地下のマグマが噴き出したことで地表が陥没し、形成された大きな「くぼ地」のことを何と呼ぶか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|----------|---------|
| 1. 盆地 | 2. 扇状地 | 3. シラス台地 | 4. カルデラ |
|-------|--------|----------|---------|
- 問9 九州地方の気候について、福岡市と宮崎市の降水量の特徴を比較した説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 福岡市は夏に雨が極端に少なくなる瀬戸内の気候の特徴を持つが、宮崎市は黒潮の影響で冬でも降水量が減らず、一年中多雨である。 | 2. 宮崎市は冬の季節風の影響で12月・1月に降水量が最も多くなるが、福岡市は年間を通じて降水量の変化が少なく、常に一定の雨量がある。 | 3. 福岡市は梅雨の時期である6月・7月に降水量のピークがある一方で、宮崎市は台風や季節風の影響を受け、夏の降水量が月間600mm近くに達するなど非常に多い。 | 4. 宮崎市は福岡市に比べて年間の総降水量が少なく、特に夏から秋にかけては乾燥した晴天の日が続くため、水不足になりやすい特徴がある。 |
|---|---|---|--|
- 問10 鹿児島県の大隅半島付近に広く分布する、火山活動による噴出物が積み重なってできた台地について説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 灰白色の土に覆われており、水はけがよいため畑作や畜産が盛んに行われている。 | 2. 火山の噴火によって形成された大規模なくぼ地であり、その内部は広大な水田地帯となっている。 | 3. 川の流れによって運ばれた土砂が河口付近に堆積してできた、平坦で低く湿った土地である。 | 4. 山地が沈降してできた複雑な海岸線を持ち、真珠やカキの養殖が盛んに行われている。 |
|--|---|---|--|
- 問11 九州地方の長崎県は、内陸県である群馬県と比較して、小学校1校あたりの児童数が少ないという特徴があります。これは、長崎県が持つどのような地理的条件が影響していると考えられますか。適切な記述を選択してください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 多数の有人離島が存在し、それぞれの島に独立した教育環境を整備する必要がある。 | 2. 他県からの転入者が多いため、将来の人口増加を見越してあらかじめ多くの学校を設置している。 | 3. 平地が少なく急峻な山岳地帯が多いため、大規模な校舎を建てることができない。 | 4. 造船業や水産業が盛んな地域では、職住近接の考えから小規模な学校が好まれる。 |
|---|---|--|--|
- 問12 沖縄県の産業構造において、製造業などの第二次産業の割合が低く、サービス業や小売業などの第三次産業の割合が突出して高い理由として、適切なものを選択してください。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 広大な平野を利用した機械化農業が推進され、農産物の加工から販売までを行う第六次産業が製造業に代わっているため。 | 2. 政令指定都市を中心とした都市圏が形成され、情報通信技術（ICT）関連の製造工場がすべて県外に移転したため。 | 3. 亜熱帯の気候や独自の文化を求めて国内外から多くの観光客が訪れ、観光関連産業が県の経済を支えているため。 | 4. 県外からの輸送コストが高いため、原材料を輸入して製品を輸出する加工貿易型の工業が全く発達しなかったため。 |
|--|--|--|---|